

27歳の挑戦

立川市議会議員

# 山本ようすけ

市議会レポート(緑たちかわニュース) No.1



発行日：2018年10月20日 発行・連絡先：〒190-0011 立川市高松町2丁目19-1  
TEL：080-5650-7833 Email：t.yamayou@gmail.com

## ごあいさつ

6月17日開票の立川市議会議員選挙。候補者数は43人で過去2番目の多さ、倍率は過去最高。厳しい戦いでしたが、1,288票をいただき、なんとか当選を果たさせていただきました。

今回の選挙は自分の人生においても最大の挑戦でした。正直に申し上げると周囲の反対や、誹謗中傷や嫌がらせ等、つらいことばかりでした。しかし、27歳の挑戦を応援したいという温かい声に支えられ、それがどんなにありがたかったことか…ご助力いただいた皆様には改めて心より御礼申し上げます。

さて、議員として初めての議会である9月議会を終えました。山場を超えたと思ったら次の山が立ち上がるような怒濤の一ヶ月となりました。議会という場所はどうしても世間の常識が通用しない不可思議な風習やしきたりも沢山あり、驚くことばかりでした。今後も無所属議員としてしごらみに囚われない立場から、しっかりと立川のために尽くしてゆこうと思いを新たにしております。



## 魚もゴミも捕れました！残堀川での環境学習

新生小学校の子ども達と残堀川で環境学習(水辺の楽校)に参加しました！ガサガサ(網を置いて上流側からガサガサと足踏みをして網に追い込む)をして潜んでいる生き物を採集して観察しました。ドジョウやアブラハヤ、ヨシノボリなどの小魚の他、ヤゴ、ミズカマキリ、ヌマエビ等の生き物もたくさん捕れました。



その一方、プラスチックゴミもたくさん見受けられました。これらが海に流れ出し、マイクロプラスチックなどの海洋汚染に直接繋がっていることも強く実感しました。立川市でも何か対策や取組みをできないか、今後の課題として考えていきたいと思えます。



## 福島を忘れない！朗読劇「線量計が鳴る」

福島第一原発事故をテーマにした元参議院議員の中村敦夫さんの朗読劇「線量計が鳴る」に当日スタッフとしてお手伝いしました。元原発作業員が主人公で、東北弁で原発事故を語る姿は胸に迫るものがありました。

福島へは7月にも視察と勉強会で行きましたが、復興とは程遠い状況でした。小綺麗な建物こそ建っているものの、それらにはいずれも人の営みを感じることができず…復興はあくまでコンクリート主導であり、人の生活や日常の営みが省みられていないように思いました。東京にいと原発事故はもう過去のことで、今や東京五輪へまっしぐらという風潮です。しかし被災地はいまだに置いてきぼりで、しきりに喧伝されている復興の現状がいかにか空疎なものかを痛感しています。福島を忘れてはいけなと改めて強く思います。



朗読する中村敦夫さん

# 議会活動報告

**一般質問...** 3ヶ月ごとの定例会ごとに60分与えられ、市に対して自由に考えを聞いたり、自分の意見を表明、政策の提案をできるという、いわば議員活動としては最大の見せ場です。

## 若い人の声をもっと聴くべき！若者議会を提案しました！

Q：地域の催しや政治の場において若者の参加が極めて希薄だと危惧している。愛知県新城市では「若者議会」という先進的な取組みを実施しており、自身も8月に視察に行ったが非常に有意義だと感じた。立川市においても若者をまちづくりに参画させるような政策は検討できないか。

A：現状としてはタウンミーティング等に若者を参画させている他、多摩の学生まちづくりコンペティションの支援を通じて地域の課題解決に学生を参画させるなどの活動に取り組んでいる。今後の若者政策としては後期基本計画や立川創世総合戦略等の策定過程において議論してゆきたいと考えている。

## 集中豪雨が増えており水害対策は急務！緑川幹線に水位計の設置を！

Q：昨今、短期的な集中豪雨が頻発している。現在の緑川幹線における流量等を把握していないとのこと懸念している。現状の緑川はどの程度の降雨量に耐えることができるのか。また、内水氾濫等の危険性はないか。水位計等を設置することで防災に資するのではないかと考えるがどうか。

A：現状としては50mm/時の降雨には耐えることができるが、それ以上の降雨に際しては内水氾濫が発生する可能性は否定できない。水位計を設置することも防災の観点から有用だとは考えるが、現状としては設置する予定はない。今後、気候変動などにより新たな対策が必要になった時に検討したい。

## 酷暑は今や災害！生活保護世帯へのエアコン補助の拡大を！

Q：今年は記録的な猛暑により、熱中症による救急搬送者数が過去最多になった。今年の4月以降に生活保護を利用開始した世帯を対象にエアコン購入に対する補助が出ることになったがその状況はどうか。また、今回の補助対象は極めて限定的で、利用開始時期によって対象者を決めることも不公平と考えるが、国に是正するよう要請できないか。

A：8月28日の時点で4月以降に生活保護を利用開始した世帯数は126件、そのうち6件のエアコン購入補助を支給している。市としては国が決めたことを実施するのが原則なので、要望等は考えていない。しかし、人道的に対象者を拡大してゆく必要はあると考えているので、生活保護の課長会や福祉保健部長会等で議論してゆきたい。

## 平成29年度の決算には賛成しました

年々社会保障費が削られてゆくのではないかと懸念しつつも、障害者雇用への取組みや新電力との契約等、評価できる事業も複数あり、今回は認定の立場といたしました。

### 可決 平成29年度立川市一般会計歳入歳出決算

賛成  
19

反対  
4

緑たちかわ①

たちかわ自民党・安進会⑦ 公明党⑤  
未来日本立川・国民民主③ マキおこせ！市民力①  
NHKから国民を守る党① 立憲民主立川①

日本共産党④

## 一般会計補正予算第4号には反対しました

補正予算に「新学校給食共同調理上整備運営事業化調査等委託」という費目があり、市の共同調理場に関する検討は市長の公約という結論ありきで進められており、市の説明にも納得できなかったため、反対としました。

### 可決 平成30年度立川市一般会計補正予算（第4号）

賛成  
19

反対  
8

たちかわ自民党・安進会⑧ 公明党⑦  
未来日本立川・国民民主③  
マキおこせ！市民力①

緑たちかわ①  
日本共産党⑤ 立憲民主立川①  
NHKから国民を守る党①

## 「生活保護世帯の冷房器具設置の拡充を求める意見書」が全会一致で採択されました！

上記の生活保護利用世帯に対するエアコン購入補助について、「真に必要な者が冷房器具を購入できるよう、制度の適切な運用を含め、万全な対応を検討する」よう国へ要請する意見書を全会一致で採択されました。この意見書を採択させるため、他会派議員の方に相談し、そこから提出してもらうなど、一人会派ならではの動きもできることを実感しました。

## 山本洋輔 プロフィール

1990年 11月6日 東京武蔵村山市で生まれる  
2006年 東京都立立川高等学校入学。  
2010年 一橋大学 社会学部 社会学科入学  
2014年 大学を卒業。コンサルティング会社に就職  
2018年 立川市議会議員選挙に立候補 初当選  
厚生産業委員会委員、都市計画審議会委員



【趣味】  
旅行、映画鑑賞、読書、歴史美術館・博物館めぐり  
映画鑑賞、登山、街歩き

【昔の将来の夢】  
アンパンマン

【最近の悩み】  
嘘がつけない、社交辞令が苦手  
(来賓挨拶とか苦労してる)

## 編集後記

最近、市役所の会派室の引っ越しをしました。稲橋議員、松本マキ議員、くぼた議員の個人的(?)な3人と一緒に部屋を使っています！そして何かと話題に富む「NHKから国民を守る党」のくぼたさん…最初はさぞかし怖い人だろうと戦々恐々としてたのですが(笑)、実際にお話しして「考えの違いもあるだろうけどお互い新人同士、知らないことだらけなので、一緒に勉強していきましょう」ということで仲良くやっています。そんな具合で会派室ではみんなで和気あいあいとやっております。どうぞ気兼ねなくお越し下さい！